

研究部会 活動報告書（2024年度）

研究部会の名称

廃棄物計画研究部会

研究部会の活動目的

「環境・社会変化に適応する廃棄物計画のあり方」をテーマに、①廃棄物計画部会のこれまでの活動のレビューと課題の整理、②人口減、高齢化社会など今後の社会変化に応じた廃棄物計画及び関連計画のあり方の追求、③学会内の他部会との連携及び他学会との連携の模索、④社会貢献を行うこと。

研究部会の設置期間 年のうち、今年度は 年目

当該年度の活動実績

活動実績を冊子体などにまとめている場合は、それを提出してください。
そうでない場合は、以下に活動実績を記述してください。

- ① 年次研究発表会における企画セッション設定の有無（☒ 有 ☐ 無）←どちらかに○
（「有」の場合 ⇒ 企画セッション名とその概要と総括）

企画セッション名：「一般廃棄物管理における都道府県の役割」

セッションの概要と総括：

今回の企画セッションでは、中小の市町村の努力だけでは難しい広域化等の対策や脱炭素や循環経済への対応に関する都道府県の役割の可能性に注目し、市町村と連携した循環計画に取り組まれている三重県松阪地域防災総合事務所環境室の澤野弘宜氏に話題提供いただいた。また、フロアとのディスカッションを実施して活発な議論をいただき、廃棄物施策のみならず学会・部会・学術機関の役割にも関わる様々な示唆を得ることができた。本セッションは対面参加形式で実施し、参加者は53名（会場37名、ウェブ16名、発表者含む）であった。

② 研究部会独自の活動について

研究会を対面・リモートのハイブリッド形式で3回(5月、8月、12月)開催し、春の研究討論会での企画セミナーや、秋の研究発表会での企画セッションに関する準備や議論を行った。

幹事会を上記研究会と同時に3回、単独で1回(2月)開催し、次年度(2025年度)以降の計画や、新規役員等について検討した。

関西グループの研究会を2回(7月、2月)開催し、脱炭素の取組等の専門家からご講演いただき、情報共有した。

施設見学会(3月)を開催し、苫小牧市のリサイクルやCCUSに関連する施設を訪問し、関係者から詳細な情報をご提供いただいた。

春の研究討論会(5月)において「地域脱炭素のための資源循環と再エネ導入」と題した企画セミナーをエネルギー・資源学会と共催した。

秋の研究発表会において企画セッションを開催した(詳細は①で記述)。

上記企画セミナー・セッションに関連して事前打合せを開催し、ご講演やパネルディスカッションの内容について確認した。

春季(6月)および秋季(11月)のシンポジウムを開催し、廃棄物分野における人材確保等についてのご講演等により情報共有した。

年間の部会活動について報告書を作成し、関係者に配付した。